



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社LITALICO 上場取引所 東  
 コード番号 6187 URL http://litalico.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 敦弥  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 坂本 祥二 TEL 03(5704)7355  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,698	18.9	618	7.7	642	16.1	406	13.2
29年3月期第3四半期	6,473	20.4	574	△8.2	553	△12.3	359	△15.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	23.35	22.89
29年3月期第3四半期	20.76	20.34

(注) 当社は、平成28年9月6日付で株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	5,050	2,177	43.0	124.05
29年3月期	4,144	1,738	41.9	100.02

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 2,173百万円 29年3月期 1,736百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,254	17.5	805	20.2	827	27.1	510	21.7	29.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	17,517,400株	29年3月期	17,385,400株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	一株	29年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	17,429,603株	29年3月期3Q	17,322,084株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復テンポは鈍いものの、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかし、中国の景気失速や欧米の政治動向など海外には不透明な材料が多く、国内においては、雇用情勢の改善が続く中でも実質賃金の減少による個人消費の低迷が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く事業環境においては、民間企業において雇用障害者数、実雇用率ともに過去最高を更新するものの、法定雇用率達成企業の割合は50.0%となっており、平成30年4月の法定雇用率の引き上げに向けて障害者雇用に対する旺盛な需要が見込まれております。

また、障害のある全国の公立小中学生のうち、通常学級に在籍しながら必要に応じて別室などで授業を受ける「通級指導」の平成28年度の対象者は98,311人で過去最高を更新し、過去3年間で17.4%増えるなど、発達障害への社会認知が進んでいます。

そのような外部環境の変化を踏まえ、長期的利益の安定成長を実現するため、一般就労等を希望される障害者等を対象としたLITALICOワークス事業の一層の強化や業務効率の改善、発達障害がある児童を対象としたLITALICOジュニア事業への投資を継続しております。具体的には、当第3四半期累計期間の新規拠点開設数は、就労移行支援事業6拠点、児童発達支援事業8拠点、放課後等デイサービス事業15拠点、その他(LITALICOワンダー事業)2拠点となりました。

このような事業環境のもと、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高7,698,350千円(前年同四半期比18.9%増)、営業利益618,784千円(前年同四半期比7.7%増)、経常利益642,440千円(前年同四半期比16.1%増)となり、四半期純利益は406,957千円(前年同四半期比13.2%増)となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

## ①LITALICOワークス事業

既存拠点及び新規開設拠点が順調に推移したことにより、当第3四半期累計期間の売上高は3,724,605千円(前年同四半期比15.6%増)となりました。

## ②LITALICOジュニア事業

既存拠点及び新規開設拠点が順調に推移したことにより、当第3四半期累計期間の売上高は3,542,374千円(前年同四半期比20.7%増)となりました。

## ③その他

既存拠点及び新規開設拠点が順調に推移したことや、インターネット事業の拡大により、当第3四半期累計期間の売上高は431,369千円(前年同四半期比35.9%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して906,322千円増加し、5,050,564千円となりました。これは主に、有形固定資産の増加488,892千円、売掛金の増加284,195千円、現金及び預金の減少231,671千円、投資有価証券の増加200,084千円によるものであります。

## (負債)

負債合計は、前事業年度末と比較して467,374千円増加し、2,872,781千円となりました。これは主に、長期借入金及び1年内返済長期借入金の増加358,788千円、短期借入金の増加200,000千円によるものであります。

## (純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比較して438,947千円増加し、2,177,783千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上に伴う繰越利益剰余金の増加406,957千円によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月15日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	627,682	396,011
売掛金	1,357,559	1,641,754
たな卸資産	4,932	3,404
前渡金	10,737	8,490
前払費用	108,778	142,345
繰延税金資産	12,029	12,029
未収入金	48,970	22,169
その他	2,155	2,868
貸倒引当金	△1,072	△828
流動資産合計	2,171,773	2,228,245
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	1,011,926	1,385,680
工具、器具及び備品	729,164	986,789
減価償却累計額	△387,911	△530,397
有形固定資産合計	1,353,179	1,842,072
無形固定資産		
ソフトウェア	97,037	147,160
ソフトウェア仮勘定	—	35,163
無形固定資産合計	97,037	182,324
投資その他の資産		
投資有価証券	11,667	211,752
出資金	20	—
長期前払費用	60,451	86,904
従業員に対する長期貸付金	321	222
敷金及び保証金	405,386	444,665
繰延税金資産	44,404	44,378
その他	—	10,000
投資その他の資産合計	522,252	797,923
固定資産合計	1,972,469	2,822,319
資産合計	4,144,242	5,050,564

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	361,159	482,443
リース債務	25,875	29,793
未払金	346,239	268,517
未払費用	409,014	490,607
未払法人税等	126,817	69,698
預り金	114,415	128,210
前受収益	1,664	1,098
その他	42,335	8,985
流動負債合計	1,427,522	1,679,354
固定負債		
長期借入金	899,937	1,137,441
リース債務	24,596	46,638
長期未払金	53,350	9,347
固定負債合計	977,884	1,193,426
負債合計	2,405,406	2,872,781
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	334,268	348,998
資本剰余金		
資本準備金	293,268	307,998
資本剰余金合計	293,268	307,998
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,108,371	1,515,328
利益剰余金合計	1,108,371	1,515,328
株主資本合計	1,735,907	2,172,324
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	618	676
評価・換算差額等合計	618	676
新株予約権	2,310	4,782
純資産合計	1,738,835	2,177,783
負債純資産合計	4,144,242	5,050,564

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	6,473,431	7,698,350
売上原価	3,969,098	4,813,918
売上総利益	2,504,332	2,884,432
販売費及び一般管理費	1,929,976	2,265,647
営業利益	574,355	618,784
営業外収益		
受取利息	9	6
受取配当金	2	—
助成金収入	10,823	33,325
その他	2,409	2,493
営業外収益合計	13,244	35,825
営業外費用		
支払利息	10,653	9,242
支払手数料	3,411	1,463
解約違約金	20,216	1,027
その他	151	436
営業外費用合計	34,433	12,170
経常利益	553,166	642,440
特別利益		
新株予約権戻入益	—	510
特別利益合計	—	510
特別損失		
固定資産除却損	32,133	53,210
特別損失合計	32,133	53,210
税引前四半期純利益	521,033	589,739
法人税、住民税及び事業税	161,396	182,782
法人税等合計	161,396	182,782
四半期純利益	359,636	406,957

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	LITALICO ワークス事業	LITALICO ジュニア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,220,856	2,935,205	6,156,061	317,369	6,473,431
セグメント利益又は損失(△)	1,106,450	629,945	1,736,395	△127,657	1,608,738

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOワンダー事業、インターネット事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	1,736,395
「その他」の区分の損失	△127,657
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△1,034,382
四半期損益計算書の営業利益	574,355

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。



## II 当第3四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	LITALICO ワークス事業	LITALICO ジュニア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,724,605	3,542,374	7,266,980	431,369	7,698,350
セグメント利益又は損失(△)	1,243,775	730,026	1,973,801	△155,780	1,818,021

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOワンダー事業、インターネット事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	1,973,801
「その他」の区分の損失	△155,780
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△1,199,236
四半期損益計算書の営業利益	618,784

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。